

中学校・第3学年・外国語科 「町紹介をしよう」①

活動のねらい

ALTの家族が来日するにあたって、自分たちの町の魅力が伝わるように、家族一人一人の好みなどを踏まえた町の紹介文を書くことができる。

ICT活用のポイント

各自が書いた文章についてコメント機能を使ってオンラインでやり取りをさせることにより、複数人での即時的・実践的なコミュニケーションをさせることができ、それにより紹介文の内容面（表現内容の適切さ）と言語面（英語使用の正確さ）を主体的・対話的に学ばせることができる。

帯活動・導入・課題の提示

紹介文の作成及び
学習支援ソフト等への投稿

互いの紹介文を読み合い、
「内容面」と「言語面」からアドバイス

教師からのフィードバック

紹介文の再構築

事例の概要

○紹介文の作成及び学習支援ソフト等への投稿

決められた時間内に、町の紹介や自分の考えなどをICT端末を用いて作成し、学習支援ソフト等に入力する。

○互いの紹介文を読み合い、「内容面」と「言語面」からアドバイス

入力された紹介文を生徒同士で読み合い、以下の①、②について、コメント機能でやり取りする。

- ①感想（英語で）
- ②内容面と言語面からのアドバイス（日本語で）

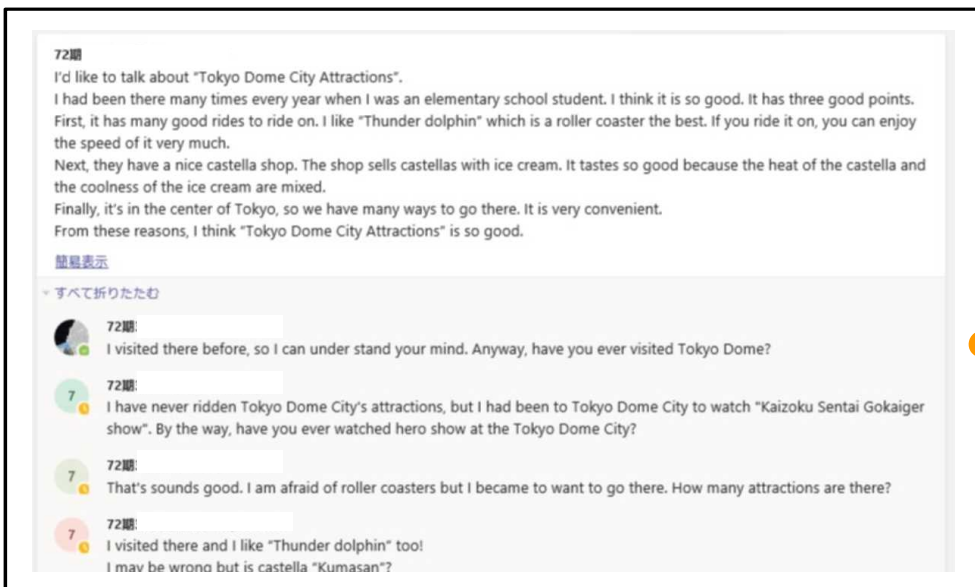
○教師からのフィードバック

教師は上記①、②に関して、多くの紹介文にみられる汎用的な改善点や、本言語活動における目的・場面・状況に応じた適切な表現内容及び多様な既習表現の活用方法を取り上げ、全体に指導する。

中学校・第3学年・外国語科 「町紹介をしよう」②

～コメント機能を使った「書くこと」における「内容面」と「言語面」に関する学び～

【投稿された紹介文についてやり取りが行われている画面】



- ALTの家族の好みなどに合わせて、町のどこを紹介するかやその理由などについて投稿した自分の考え（上半分）と、クラスメイトからの感想（下半分）がコメント形式で表示されている。読んでいる間も新たな感想が続々と表示されていた。
- このような活動は、日常生活で使用している生徒が多いと思われるSNS上でのやり取りと近いため、**実生活に合わせた形での実践**になり、この活動を楽しんでいる生徒が大変多くいた。

（留意点）

- 自分の考えを投稿する時間を決め、時間がきたら途中でも投稿させる。
- コメントのやり取りに全員が取り組めるよう、一文または単語だけでもよいこととして、まずグループ内の友達の紹介文にコメントを投稿させることとする。

【自分が投稿した紹介文に対する感想等を読んでいる場面】



- 日頃交流しないクラスメイトからの返信内容が気になり、その内容を積極的に確認し合ったり、返信を書くために文章の書き方や表現等を仲間に尋ねたりするなど、**「読むこと」や「書くこと」の言語活動への必然性と意欲**が非常に高まっていた。
- クラスメイトからのポジティブな感想や、更に知りたいという質問などを即時的に読むことで、紹介文の**再構築への意欲化や見通し**をもたせることができていた。

（クラスメイトからの返信例）

- I visited there before, so I can understand your mind. (原文ママ)
- Have you ever watched hero show at the Tokyo Dome City? (原文ママ)